

北陸地方では強い寒気が入って大雪の知らせの様です。困りますね。横浜の辺りでは梅が咲き始めました。印象としては2週ほど早い気がします。

さて、その大雪の石川県には現在当院からのDMAT隊が出動しています。主には本部業務とのことで、雪道かき分けて、ではありませんが、苦勞も多いと思います。

当院は横浜市の災害拠点病院に指定されているので、自身の体制も結構しっかりと作っていますし、病院も免振だったり井戸掘ったり、また自家発電装置を増設したり、といろいろ対策を打っています。

それでも、災害地域で実際にものごとを見たり、聞いたりすることは、あたまで考える事よりも、多くのことを身に付けることができそうです。

DMAT隊は訓練を受けて資格を得るので（私も一応、隊員です）、なかなか敷居は高いのですが、資格がない若い先生にも今回は補助員として入ってもらっています。今回のDMAT隊よりも先に、国立病院機構が派遣した医療班には、昨年まで研修医だった専攻医1年目の先生が参加しています。

来月には再度の医療班派遣があるので、その際には研修医の先生二人くらい参加してもらおう予定にしています。災害後はその時のフェーズによって必要とされる医療が異なるので、地元の統括部署の指示に従って、その時に大事なものを提供できるように準備ができると良いですね。

これを読んでくれている先生の中にも、大学から派遣が出たり、自身が出た、と言う人もいるかもしれません。いろいろな経験は無駄にはならないと私は思っています。

編み上げ安全靴は、しっかりした靴下を履かないとすぐに靴擦れになりますよ。



医療班出発時の後ろ姿、ちょっとかっこいいですね。  
輪島まで二日かかり…